



## »03 関東技研フォーム株式会社

令和3年12月認定



所在	埼玉県久喜市桜田5-18-5
主な業務内容	発泡ポリエチレン加工
従業員	9人
設立年月	1983年12月

地震  
リスク

最大震度6弱、液状化の可能性は高い

水害  
リスク

対象河川は利根川と江戸川、最大浸水深は3.0~5.0m未満

## 概要

御社の概要を教えてください。

当社は積水化学工業(株)の多様な製品の中から、各種ソフトロン製品(発泡ポリエチレン)の二次、三次加工を主たる業務とし、蓄積された技術及びノウハウを駆使して、良質な製品を提供しています。

積水化学工業(株)武藏工場の指定会社としての重責に恥じないよう、常に高度な加工技術を追求し新製品の開発に積極的に取り組み期待に応えています。

発泡ポリエチレンの応用範囲は非常に広く、住まいの断熱、車両の内装材、建築物や工業製品、日用品など各分野に利用されており、**当社はこの分野の専門メーカーとして生活及び産業活動のサプライチェーンの一翼を担っています。**

## きっかけ

事業継続力強化計画を策定したきっかけを教えてください。

鷺宮工業団地事業協同組合の推薦の他、次のような理由からです。

- ①災害発生時においては何よりも人命を最優先とし、社員・関係者の安全を確保すること
- ②自社の経営を維持することで社員とその家族の生活を確保すること、並びに社員雇用を維持することにより、地域社会に貢献すること
- ③製品の安定供給を通して、関係する積水化学工業並びに積水マテリアルソリューションズなどの**サプライチェーンを維持すること**

## 苦労

計画策定で苦労した事と、その解決策を教えてください。

地震対策は少しずつ進めていましたが、**感染症の予防対策の実施も急務**になり、全社的なより良い対応策を考えおりましたので、事業継続力強化計画の策定によりステップアップした対策ができたと思います。

感染症予防対策は、事業協同組合の助言を受けながら対応レベルを高くし、今では高い予防レベルを維持することが習慣的にできるようになりました。地震対策も脆弱部分をカバーすることができました。

## 社内外の変化

事業継続力強化計画を策定したことで、社内外で変化したことを教えてください。

積水化学工業(株) 武蔵工場からは、「BCPの第一歩の構築が進みましたね」と評価されました。

今まででは、地震対策と言えば、横揺れ対策、停電対策、防火対策など個別対策に目を奪われていましたが、この計画策定中から「**社員・関係者の安全を確保するため**」を中心にして、**全体の対策が見えるよう**になりましたので、社員への防災教育・訓練と避難通路確保の意識が前向きになりました。

また、データ類の管理・保存については、社員・関係者はこまめにバックアップを取るようになりました。

## 進捗

策定した事業継続力強化計画の進捗を教えてください。

- ①工場内の避難通路の整備の徹底
- ②帰宅困難者用食料などの備蓄品の購入
- ③非常用発電機(太陽光)の購入・設置の進行中
- ④工場と事務所の照明のLED化を進行中

## 感想

事業継続力強化計画を策定した感想を教えてください。

今まで進めてきた防災対策の確認と、今まで見えていなかった脆弱部分に気づいたことが大きいと思います。また、対外的にも災害対策の充実が進められていることを話せるようになりました。

## 感想

計画の策定を他の事業所にも勧めるとしたら

中小企業で中規模以下の企業の方には、特にこの強化計画を策定することをお勧めします。**強化計画を知らない経営者はまだ多い**ので、埼玉県や事業協同組合、商工会等の関連団体を含めてもっと強くアピールすることが重要だと思います。

無料だから策定するのではなく、**自らの事業を進んで守ることが大事だ**と思います。また、公社のアドバイザーと話し合いながら強化計画の策定を進められることは、**新しい気づき**もできますので、皆様にお勧めしたいです。

中小企業の経営者は単独で強化計画を考えるには抵抗がある方もおられますので、複数企業が連携しながら計画を策定するのも一つと思います。

## 感想

紹介者からの一言(鷺宮工業団地事業協同組合事務局)

当社は、当組合の中心として、これまで積極的に自社のBCP対策をすすめてきた企業です。今回の事業継続力強化計画の策定により、現状が体系的に整理でき、今後の事業の進展に必ず役に立つものと思い検討をお願いいたしました。

これを機に、「鷺宮工業団地事業協同組合」としても、「非常時に何ができる、何ができるのか」を検討してみたいと思いました。